

垂水区中道は尼崎西宮芦屋港, 神戸港, 須磨海浜公園と同じく瀬戸内海に隣接するものの, 内陸にある地点である. 本記録が兵庫県内および関西地方で最も西での記録になると思われる.

○参考文献

久未遊, 2019. 福岡県におけるケブカアメイロアリの追加記録 KORASANA, 91:17-19.
 環境省自然環境局, 2012. 平成 23 年度外来生物問題調査検討業務報告書. 224pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2013. 平成 24 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 270pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2014. 平成 25 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 328pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2015. 平成 26 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 242pp. 環境省自然環境局. 東京.
 岸本年郎・寺本匡寛, 2019. 名古屋市におけるケブカアメイロアリの定着. なごやの生物多様性, 6: 57-60.
 増井啓治, 2014. 芦屋市の街区公園におけるアリ類. 人と自然, 25: 99-104.
 中嶋智子・関誠一・片山哲郎・鶴鷹圭三・川原崎功・越智広志, 2013. 保健環境研究所構内のアリ種リスト. 京都府保険環境研究所年報, 58: 47-50.
 那須尚子, 2008. 宮崎市でケブカアメイロアリを採集. タテハモドキ, 44: 31.
 田付貞洋, 2014. アルゼンチンアリ 史上最強の侵略的外来種, 331pp. 東京大学出版会. 東京.
 寺山守, 2017. アカヒアリ (ヒアリ) 概説と最近の動向. 埼玉動物研通信 89: 1-32.
 寺山守・久保田敏・江口克之, 2014. 日本産アリ類図鑑, 278 pp. 朝倉書店. 東京.
 辻雄介, 2018. 山口県におけるアリ科の分布調査. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 10: 11-49.

(Kenichi IKEDA 東京都狛江市)

阪神間におけるミカドアゲハの記録 2 例

神吉正雄

ミカドアゲハ *Graphium doson* の兵庫県における記録は, 近年 2008 年たつの市, 2014 年赤穂市, 2018 年加古川市から報告されているが, 宝塚市・西宮市では初めての記録と思われるので, ここで 2 例をまとめて報告しておく. なお, 両記録は採集者と相談の上, 本誌に筆者から報告することとした.

宝塚市での採集記録

宝塚市川面, 2017 年 5 月 20 日, 遠藤知二・浅野リサ採集

採集時の状況: 神戸女学院大学遠藤知二先生と学生の浅野リサさんが, 漫画家手塚治虫の少年時代に御殿山周辺で採集したチョウのデータと, 今日の同地における生息状況との比較研究をするため, 宝塚市大林寺北の尾根筋でセンサス調査をしていた. 10 時頃, カナメモチの花で吸蜜している本種を発見し採集された. 手塚浩氏に同定依頼したところ, 自然発生個体と見られるとの判断を頂いた. 標本は神戸女学院大学人間科学部の標本室に保管されている (図 1, 2).

西宮市での採集記録

西宮市甲山町兵庫県立甲山森林公園内, 2019 年 8 月 27 日, 一本松正道採集

採集時の状況: 西宮市在住で灘高生物研究部 OB の物理化学者の一本松正道氏が甲山周辺のチョウの調査・採集目的で甲山森林公園内を歩いていた時, 園内の遊歩道で落下している生体のミカドアゲハ夏型の羽化不全個体を採集された. 後日, 筆者が同定に間違いのないことを確認した. 採集された時期がミカドアゲハとすると遅い発生であることと個体の状況から見て, 公園内に飛来した雌が食樹のタイサンボクに産卵したが, 羽化する際に何らかの条件で羽化不全となり, 落下したものと考えられる. 落下した場所のすぐ上に, 食樹のタイサンボク



図 1 ミカドアゲハ, 表 (遠藤知二撮影).



図 2 ミカドアゲハ, 裏 (遠藤知二撮影).



図3 落下していた羽化不全のミカドアゲハ (神吉正雄撮影).



図4 落下していた場所. 正面の樹はタイサンボク (神吉正雄撮影).

があり, 食痕らしきものも確認できた. 標本は一本松正道氏が保管されている (図3, 4).

○参考文献

日本チョウ類保全協会編, 2012. フィールドノート日本のチョウ. 誠文堂新光社

梅田博久, 2014. 妙見山 (大阪府能勢町) でミカドアゲハを目撃. きべりはむし 37 (1) : 39.

広畑正巳, 2016. 兵庫県におけるミカドアゲハの記録. きべりはむし, 39 (1) : 42-43.

岡田善嗣・近藤伸一, 2018. ミカドアゲハを兵庫県加古川市内で採集. きべりはむし, 41 (1) : 26.

(Masao KAMIYOSHI 兵庫県宝塚市)

チャオビトビモンエダシャクを兵庫県加古川市と兵庫県市川町で確認

高橋輝男

チャオビトビモンエダシャク (*Biston strataria*) はシャクガ科エダシャク亜科のガであり, その分布域は大図鑑 (井上他, 1982) によると北海道, 本州中部 (北関東か

ら中部の山地) まで広く分布しているが, ネット上の記録では広島県呉市で観察された記録がある. 最近, 宇野 (2019) が 2015 ~ 2016 年の宝塚市と西宮市におけるチャオビトビモンエダシャクの記録を報告しているが, 兵庫県での本種の記録はそれ以外にはない. 筆者はそのチャオビトビモンエダシャクを 2015 年 3 月 11 日に兵庫県加古川市志方町でまた 2020 年 3 月 13 日に兵庫県神崎郡市川町で確認, 採集しているのでここに報告する.

1. 兵庫県加古川市での観察

観察場所は兵庫県加古川市志方町にある加古川市立志方東公園内である. 2015 年 3 月 11 日午前 9 時前に公園を散歩していたところ, 桜の幹にチャオビトビモンエダシャクがいるのを見つけ写真に収めた (図1). その時は広島で見つまっていることを知っていたので, 報告をせずに済ませてしまった. この個体は写真で見ると全く傷のない完品である.



図1 加古川市のチャオビトビモンエダシャクの生態写真 (2015 年 3 月 11 日).



図2 市川町のチャオビトビモンエダシャクの生態写真 (2020 年 3 月 13 日).



図3 市川町のチャオビトビモンエダシャク (開張 55mm).